SONY®

PLAYSTATION® 3

使用上のご注意／故障かな？と思ったら

CECHL00

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故を起こすことがあります。

この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。特に「安全のために」（••▶ 4 ページ）は必ずご覧ください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。小さなお子様には、保護者の方がお読みのうえ、安全にお使いください。

PLAYSTATION®3 で遊ぶ前に　必ず大人の方といっしょに、この取扱説明書をよく読んで、PS3® を安全に使ってください。

4-115-651-**01**(1)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

JIS C 61000-3-2（高調波電流規格）適合品

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
また本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。
認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：CECHL00
ただし、以下の事項を行うと法的に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること
- 本体底面にある証明番号を消すこと

周波数について

本機は2.4GHz帯を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意

本機の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

本装置は、2.4GHz帯高度化小電力データ通信システムとして使用可能な帯域全てを使用する無線設備であり、変調方式としてはDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は40mであり、移動体識別装置の帯域を回避可能です。また本装置は変調方式としてFH-SS方式を採用しています。与干渉距離は20mであり、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

機器認証について

株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントは、PS3®のネットワーク接続において、著作権およびセキュリティ保護のため、DNAS®（Dynamic Network Authentication System）という独自の機器認証システムを使用しています。DNAS®は、PS3®がネットワークに接続するときに、PS3®から機器ID、タイトル情報などのハードウェアおよびソフトウェアに関する情報をサーバーへ自動的に送信する場合があります。送信される情報には、個人を特定するものは一切含まれません。このシステムの無効化装置もしくはプログラムを譲渡し、引渡し、展示し、輸出し、輸入し、または送信することは、法律により禁止されています。

システムソフトウェアについて

本機に搭載されるシステムソフトウェアは、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントのライセンス条項の制約を受けます。詳しくは、http://www.scei.co.jp/ps3-eula をご覧ください。

目次

本書に掲載されている操作説明は、システムソフトウェアのバージョンによって異なる場合があります。

PS3®の取扱説明書について

PS3®の取扱説明書は、次の3種類で構成されています。

使用上のご注意／故障かな？と思ったら（本書）
PS3®を安全に使うための注意事項や困ったときの対処法、仕様などを説明しています。

クイックリファレンス
PS3®の設置や準備、基本的な操作を説明しています。

ユーザーズガイド（http://manuals.playstation.net/document/）
インターネットに接続して見るオンラインマニュアルです。PS3®のシステムソフトウェアの操作方法を詳しく説明しています。

⚠警告 安全のために

当社製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ず守ってください。

「安全のために」の注意事項を守る

「安全のために」の注意事項をよく読んでください。本体および周辺機器を安全に使うための注意事項が書かれています。

定期的に点検する

設置するときは、次のことを点検してください。また、設置したあとも、1年に1度は点検してください。

- 電源コードに傷みはないか？
- 電源コードのプラグとコンセントの間や通風孔に、ほこりがたまっていないか？

故障したら使わない

動作がおかしいときや壊れたとき、電源コードが傷ついたときは、インフォメーションセンター（••▶ 裏表紙）に相談してください。

異常が起きたら

変な音やにおいがする／本体が異常に熱くなっている／煙が出ている

① 電源コードのプラグをコンセントから抜く。

② インフォメーションセンターに連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文を読んでください。

■危害や損害の程度

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災／感電／破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災／感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故により、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

■図記号の説明

行為を禁止する図記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する図記号

指示

プラグをコンセントから抜く

アース線を接続せよ

製品全般についてのご注意

⚠警告

電源コードを傷つけない

コードが傷ついたまま使うと、火災や感電の原因となります。

- 壁や棚などの間にはさみ込まない。
- 加工しない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 物を載せない。引っ張らない。
- 本体を移動するときは電源コードのプラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、プラグを持ってまっすぐ抜く。

禁止

指定の電源コードを使う

指定以外のものを使うと、火災や感電の原因となります。

指示

分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となります。また、ディスクを読み出すためのレーザー光が目に入ると視力障害を起こす原因となります。

分解禁止

内部（端子類、通風孔、ディスクスロット）に水や異物を入れない

火災や感電、故障の原因となります。水や異物が入ったときは、すぐに電源コードのプラグをコンセントから抜き、インフォメーションセンターに相談してください。また、このときに、他の機器を接続したままにすると、機器の故障の原因となります。

禁止

油煙や湯気の当たる場所、湿気やほこりの多い場所に置かない

火災や感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、電源コードやLANケーブル、本体にさわらない

感電の原因となります。

接触禁止

ぬれた手で電源コードのプラグにさわらない

感電の原因となります。

ぬれ手禁止

長期間使わないときやお手入れをするときは、電源コードのプラグをコンセントから抜く

火災や感電の原因となります。

プラグをコンセントから抜く

通風孔をふさがない

本体が過熱して、火災やけが、故障の原因となります。風通しを良くするために次のことを守ってください。

- 壁などから10cm以上離して設置する。
- 毛足の長いじゅうたんや布団の上に設置しない。
- 密閉された狭い場所に押し込まない。
- 布などで包まない。
- ほこりをためない。

禁止

直射日光の当たる場所や、熱器具の近くなど高温になるところに置かない

火災や故障の原因となります。

禁止

接続するときは、端子類にほこりや異物が付いていないか確かめる

本体や電源コードなどの端子に、ほこりや異物が付いているときは、乾いた布でふいてから接続してください。ほこりや異物を付けたまま使うと、火災や感電の原因となります。

指示

無線通信機能を使うときは、心臓ペースメーカーの装着部から22cm以上離す

電波により、心臓ペースメーカーの動作に影響を与えることがあります。

指示

病院など使用を禁止された場所や、電子機器*の近くでは、無線通信機能を使わない

電波が電子機器*に影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となります。

禁止

* 心臓ペースメーカー、その他医療用電子機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

⚠注意

ワイヤレスコントローラのモーションセンサー機能を使うときは注意する

ワイヤレスコントローラのモーションセンサー機能を使うときは、次のことに注意してください。コントローラが人や物にぶつかると、事故やけが、故障の原因となります。

指示

- 使用する前に、周囲に充分なスペースが確保できているかを確認してください。
- 使用中はコントローラをしっかりと握り、手から投げ出されないようにしてください。
- コントローラをUSBケーブルに接続した状態で使うときは、ケーブルが周囲の人や物にぶつからないようにしてください。また、ケーブルがPS3®本体から抜けないように注意してください。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上などに置くと、本体や周辺機器が落ちて、けがや故障の原因となります。置き場所などの強度も充分に確かめてください。

禁止

横置き、縦置き以外の置きかたをしない

けがや故障の原因となります。

禁止

ディスクを入れたまま移動させない、置きかたを変えない

振動によりディスクに傷が付いたり、故障の原因となったりします。

禁止

本体とケーブル類は正しく配置する

ケーブルなどを足に引っかけると、本体が倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

指示

本体の上に乗らない、物を載せない、他の機器と一緒に積み重ねない

倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

禁止

本体や周辺機器を床に放置しない

つまずいたり、踏みつけたりして、けがや故障の原因となります。

禁止

幼児の手の届かないところに置く

結束バンドやアースキャップなどの小さな部品を誤って飲み込んだり、ケーブルを引っ張って本体や周辺機器が落ちたりして、事故やけが、故障の原因となります。

指示

本体を持ち運ぶときは気をつける

本体は、落とさないように注意して持ち運んでください。不安定な状態で持ち運ぶと、本体が落下し、けがや故障の原因となります。

指示

プラズマテレビやプロジェクションテレビ*に接続するときは注意する

残像現象（画像の焼き付き）が起こることがあります。特に静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。

* 液晶（LCD）方式のテレビを除きます。

通電中の本体を長時間さわらない、通風孔からの排気に長時間あたらない

本体に皮膚がふれたままになっていたり、通風孔から排出される温風に長時間あたったりすると、低温やけどの原因となります。

電源コードをコンセントにつないだ状態でケーブル*を接続しない

感電の原因となります。

* USBケーブルを除きます。

LAN端子に指定以外のケーブルを接続しない

LAN端子は、10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプに対応しています。一般の電話回線や、ISDN回線などを直接LAN端子に接続しないでください。発熱や火災、故障の原因となります。

変圧器やDC/ACインバーターを使わない

海外旅行者用の変圧器や、自動車用のDC/ACインバーターなどに電源コードを接続すると、本体が発熱し、やけどや故障の原因となります。

アース線を接続する

アース線を接続しないと、感電するおそれがあります。アース線を取り付けることができない場合は、電気工事業者に工事を依頼してください。

バイブレーション（振動）機能がついたコントローラを放置しない

振動機能に対応したソフトウェアで遊ぶときは、本体や机の上などにコントローラを放置しないでください。ソフトウェアの進行によりコントローラが振動して落下し、けがや故障の原因となります。

不要になった本体や周辺機器は廃棄方法に注意する

- 本体や周辺機器は金属やプラスチックでできているため、燃やすと危険です。廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。
- ワイヤレスコントローラの廃棄については、「ワイヤレスコントローラのバッテリーについて」（••▶21ページ）をご覧ください。

健康のためのご注意

⚠ 警告

光の刺激によって引き起こされる発作について
点滅を繰り返す画面や、その他の光の刺激によって、まれに、目の痛み、視覚異常、偏頭痛、けいれんや意識障害（失神など）などの症状（光感受性発作）が起きることがあります。こうした症状のある方は、事前に必ず医師に相談してください。

⚠ 注意

こんなときはすぐに使用を中止する
上記の症状に加え、頭痛、めまい、吐き気、疲労感、乗り物酔いに似た症状などを感じたときや、目、耳、手、腕、足など、身体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても治らないときは、医師の診察を受けてください。

コントローラの振動機能に対応したソフトウェアについて
振動障害のある方は、バイブレーション（振動）機能を使用しないでください。

- 使用するときは部屋を明るくし、できるだけ画面から離れてください。
- 疲れているときや睡眠不足のときは、使用を避けてください。
- 使用するときは健康のため、1時間ごとに15分程度の休憩を取ってください。
- 使用中に体調が悪くなったら、すぐに使用をやめてください。

使用上のご注意

お客様へ
本書に記載されている使用方法に従って、本製品をお使いください。製品本体の分解／内部解析／改造などを行うこと、および製品本体内部のチップなどに含まれるプログラムなどの著作物を無断で利用もしくは解析することを禁止します。上記をご了解いただいたうえで、お使いください。

結露について

本機やディスクを寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだ直後などは、本体内部のレンズやディスクに露がつき（結露）、正しく動作しないことがあります。結露が起きたときは、ディスクを取り出してから本機の電源を切り、電源コードのプラグを抜いた状態で数時間放置してください。
数時間たっても正常に動作しない場合は、インフォメーションセンターに相談してください。

アクセスポイントを設定するときは

ワイヤレスLANのアクセスポイントを設定するときに検索機能を使うと、利用する権限のないアクセスポイントが表示されることがあります。自宅や公衆無線LANサービス以外の、利用する権限のないアクセスポイントには接続しないでください。接続した場合、不正アクセスとみなされることがあります。

データのバックアップについて

ハードディスクに保存しているデータは、定期的にバックアップをとることをお勧めします。何らかの原因でデータが消失／破損した場合や、アフターサービスの際にハードディスクの初期化が必要となった場合は、データの復旧／修復はできません。また、データが消失／破損しても、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

バックアップユーティリティーを使う

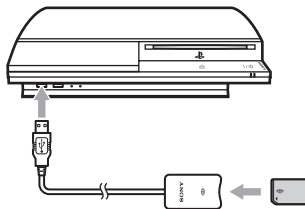
本機の（設定）➡（本体設定）➡「バックアップユーティリティー」で、ハードディスクに保存されたデータをUSBマスストレージ機器にバックアップしたり、バックアップしたデータをリストア（復元）したりできます。画面の指示に従って操作してください。なお、本機の使用状況によっては、正しくバックアップ／リストア（復元）できないことがあります。大切なデータは、あらかじめUSBマスストレージ機器にコピー／ムーブするなど予備のバックアップを作成しておくことをお勧めします。
バックアップユーティリティーについて詳しくは、ユーザーズガイド（➡3ページ）をご覧ください。

コピー／ムーブする

次の種類のファイルは、本機のハードディスクから、USBマスストレージ機器にコピー／ムーブできます。ファイルを選んで△ボタンを押し、オプションメニューから「コピー」または「ムーブ」を選びます。なお、著作権保護されたデータなどはコピー／ムーブできない場合があります。

ファイルの種類	バックアップ先
ゲームのセーブデータ、動画ファイル、音楽ファイル、画像ファイル	USBマスストレージ機器（USBメモリなど）

ヒント

市販のカードリーダー／ライター（USB接続タイプ）を使用すると、ハードディスクに保存されたデータをメモリースティック™やSDメモリーカードなどの記録メディアにバックアップできます。

無線通信機能について

本機の無線通信機能で使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。本機は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

本機の取り扱いについて

本機の表面が変質、変色しないように、次のことを守ってください。

- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。
- ゴムやビニール製品などを長期間接触させないでください。
- シンナー、ベンジン、アルコールを使わないでください。化学ぞうきんを使ってふくのを避けてください。

お手入れについて

安全のため、お手入れをするときは電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

キャビネット（本体やワイヤレスコントローラのプラスチック部分）

乾いた柔らかい布でふいてください。

通風孔

ほこりがたまっているときは、掃除機などでほこりを取り除いてください。

端子類

本体や電源コードなどの端子類は、汚れたまま使わないでください。正しく通電しないことがあります。汚れているときは、乾いた布でふき取ってください。

ディスクについて

取り扱いかた

- 再生面を手でさわらないように持ってください。
- 紙やテープを貼ったり、ペンなどで書き込みをしたりしないでください。
- 指紋やほこりなどでディスクが汚れると、画像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。

保管のしかた

- 直射日光が当たるところ、暖房器具の近くなど温度の高いところ、湿気の多いところに置かないでください。
- 長時間使わないときは、ケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけたりすると、そりの原因となります。

お手入れのしかた

- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽くふいてください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、次のことを確かめてください。また、当社ホームページのサポートページ（http://www.jp.playstation.com/support/）もあわせてご覧ください。それでも正常に動作しないときは、インフォメーションセンター（••▶ 裏表紙）にお問い合わせください。

電源

本体の電源が入らない。

➡ 本体背面の主電源スイッチがオフになっていませんか？　主電源スイッチをオンにしてください。

➡ 電源コードは、本体とコンセントにしっかり差し込まれていますか？

画像

画面に映像が映らない。

➡ テレビの映像入力を、PS3®を接続している入力端子に合わせて切りかえてください。

➡ ケーブルはしっかり差し込まれていますか？ 1度、ケーブルをPS3®本体やテレビから取りはずし、接続し直してみてください。

➡ 使っているケーブルに問題があるかもしれません。他にPS3®に対応したケーブルがある場合は、交換してみてください。

➡ 本機の映像出力設定が、使っているケーブルやテレビと合っていない場合、映像が映らなくなることがあります。映像が映らなくなったときは、1度本体の電源を切ってください。そのあと、本機とテレビだけを接続した状態で、本体前面の電源ボタンに5秒以上ふれたままにして電源を入れ直してください。映像出力設定が標準的な解像度に変更されます。

➡ 接続しているテレビが、映像コンテンツに記録されている解像度に対応していない場合、コンテンツの再生時に映像が映らなくなります。本機の映像出力設定の解像度を選ぶ画面で、お使いのテレビが対応している解像度を、すべて選択してください。

Blu-ray Disc（BD）やDVDを再生できない、映像が乱れる。

➡ DVDおよびPLAYSTATION®3規格ソフトウェアをSDの解像度で出力しているときは、NTSC方式で記録されたディスクのみ再生できます。

➡ RGB入力だけ対応したテレビに、マルチAVケーブル（VMC-AVM250*）を使って接続すると、BDやDVDの映像が正常に映りません。他にPS3®に対応したケーブルがある場合は、交換してください。

* VMC-AVM250はソニー株式会社の商品です。

➡ ビデオデッキやビデオ一体型テレビに接続していると、BDやDVDに使われているコピープロテクション信号によって、画像が乱れたり、明るくなったり、暗くなったりすることがあります。その場合は、本体とテレビを直接つないでください。

➡ BD や DVD が本機に設定されているリージョンコードと合っていない場合は、再生できません。

➡ DVD によっては、視聴年齢制限が設定されているものがあります。本機の（セキュリティ設定）で設定した暗証番号を入力し、視聴年齢制限のレベルを一時的に上げてください。

➡ BDによっては、視聴年齢制限が設定されているものがあります。本機の（セキュリティ設定）でBDの視聴年齢制限レベルを変更してください。

➡ ディスクロックが設定されたBDの可能性があります。ディスクの作成時に設定した暗証番号を入力してください。

➡ 「再生できるディスク」（••▶ 24ページ）の注意事項もあわせてご覧ください。

特定のBDが再生できない。

➡ 市販のBD映像ソフトを再生するためには、AACS（Advanced Access Control System）の暗号鍵の更新が必要になる場合があります。システムソフトウェアをアップデートすると、暗号鍵を更新できます。

テレビの画面と画像の大きさが合わない。

➡ 本機の（設定）➡（ディスプレイ設定）➡「映像出力設定」が正しく設定されているか確かめてください。

➡ 接続しているテレビの設定を確かめてください。詳しくは、テレビの説明書をご覧ください。

➡ 映像コンテンツによっては、画面サイズを変更できないものがあります。

画面の色がおかしい。

➡ お買い上げ時の設定では、時間の経過にあわせて背景色が自動的に切りかわります。

音声

音声が出ない。

➡ テレビやスピーカーの音が「消音」になっていませんか？　音量が適当なレベルか確かめてください。

➡ 本体をオーディオ機器に接続している場合、接続しているオーディオ機器の設定を確かめてください。詳しくは、オーディオ機器の説明書をご覧ください。

➡ 使っているケーブルに問題があるかもしれません。他にPS3®に対応したケーブルがある場合は、交換してみてください。

➡ ソフトウェアによっては、デジタル音声出力に対応していないものがあります。

➡ 本機の音声出力設定が、使っているケーブルや機器と合っていない場合、音声が出なくなることがあります。本機の（設定）➡（サウンド設定）➡「音声出力設定」が正しく設定されているか確かめてください。

➡ ドルビーデジタルやDTSなどに対応したコンテンツでも、すべてのチャンネルから音声が出力されないものがあります。

音楽ファイルを再生できない。

➡ 再生期限付きの曲／再生回数制限付きの曲は、再生できません。

➡ インターネットなどで配信されている音楽データには、再生方法が制限されているものがあります。そのような場合、本機では再生できないことがあります。

ビデオ

操作パネルの項目を選んでも機能しない。

➡ コンテンツ制作者の意図により再生状態が決められている場合は、本書の説明どおりに操作できないことがあります。

ネットワーク

ネットワークに接続できない。

➡ LANケーブルは、しっかり差し込まれていますか？

➡ ネットワークの設定は合っていますか？　インターネットサービスプロバイダーの資料またはソフトウェアの解説書をご覧のうえ、適切な設定をしてください。

Webページを正しく表示できない。

➡ Webページによっては、正しく表示できないものがあります。

ディスク／USB機器

ディスクが認識されない。

➡ ディスクを取り出して、もう1度セットし直してください。

➡ ディスクレーベルのあるディスクの場合は、レーベル面を上にしてセットしてください。

➡ ディスクが傷ついたり、汚れたりしていませんか？　汚れているときは柔らかい布で軽くふいてください。

➡ 「再生できるディスク」（➡ 24ページ）の注意事項もあわせてご覧ください。

ディスクが取り出せない。

➡ 本体前面のイジェクトボタンに10秒以上ふれたままにしてください。ディスクが強制排出されます。ディスクを取り出したあとは、ディスクをセットしていない状態で、1度本体の電源を切ってください。そのあと、もう1度電源を入れてください。

USB機器が認識されない／正しく動作しない。

➡ 正しくセットしていますか？

➡ USB機器の端子が汚れていませんか？ 綿棒などでふいてください。

➡ 接続したUSB機器が、本機に対応していない可能性があります。

➡ 接続するUSB端子を変更してみてください。USB端子の組み合わせによっては、機器が認識されない場合があります。

➡ USBハブを使って、一定数以上のUSB機器を同時に接続すると、認識されないことがあります。その場合は、使っていないUSB機器を取りはずしてみてください。

USB機器を接続したら、画面に「不明なUSB機器が接続されました。」と表示された。

➡ 接続したUSB機器が、本機で使えない可能性があります。

➡ 接続したUSB機器が、特定のソフトウェアのみに対応している可能性があります。USB機器に対応したソフトウェアを起動すると、USB機器を使えるようになります。

➡ USBハブの接続台数が多すぎる可能性があります。USBハブを取りはずしてください。

ワイヤレスコントローラ

操作できない。

➡ ワイヤレスで使っている場合、本体とコントローラとの距離が離れすぎていると、操作できません。

➡ コントローラを使うときは、ペアリングと、コントローラ番号の割り当てをする必要があります。本体の電源が入っているとき（本体前面の電源ランプが緑色に点灯しているとき）に、本体とコントローラをUSBケーブルで接続し、コントローラのPSボタンを押してください。

➡ コントローラ番号の割り当てが解除されている可能性があります。コントローラのPSボタンを押してください。

➡ コントローラのバッテリー残量はありますか？　コントローラをワイヤレスで使っているときは、バッテリー残量がなくなると操作できません。USBケーブルで本体にコントローラを接続して充電してください。

➡ 先の細いペンなどで背面のリセットボタンを押し、コントローラをリセットしてみてください。

振動しない。

➡ ホームメニューの （設定）➡ （周辺機器設定）➡「コントローラ振動機能」を「入」に設定してみてください。

➡ ソフトウェアが振動機能に対応していない可能性があります。ソフトウェアの解説書をご覧ください。（PLAYSTATION®Store）からソフトウェアをダウンロードした場合は、（PLAYSTATION®Store）内の情報をご覧ください。

ボタン操作の反応が遅い。

➡ 液晶テレビやパソコン用ディスプレイの中には、応答速度の遅いものがあります。故障ではありません。

充電できない、充電が完了しない。

➡ 本体の電源が入っているとき（本体前面の電源ランプが緑色に点灯しているとき）だけ充電できます。

➡ USBケーブルの接続端子が汚れていませんか？ 乾いた布などでふいてください。

バッテリーの持続時間が短い。

➡ バッテリーの寿命の可能性があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの持続時間は少しずつ短くなります。

使っていないのにバッテリーがなくなる。

➡ バッテリーは使っていないときでも少しずつ消耗します。こまめに充電することをお勧めします。

その他

本体から音がする。

➡ ディスクによっては高速回転で読み込まれるものがあるため、音が大きくなることがあります。

➡ 密閉式のAVラックなど熱のこもる場所に設置して使うと、本体内部の温度を下げるためにファンが高速回転し、音が大きくなることがあります。本体を風通しの良い場所に移して使ってください。

セキュリティ設定の暗証番号を忘れた。

➡ 本機の（設定）➡（本体設定）➡「設定の初期化」で初期化を行うと、暗証番号が「0000」に戻ります。ただし、初期化すると暗証番号以外の設定も失われます。元に戻すことはできませんので注意してください。

本体が温かい。

➡ 使用中や通電中は、本体が温かくなりますが、故障ではありません。

画面が固まって動かない。操作できない。

➡ 本機を再起動させてください。本体前面の電源ボタンに10秒以上ふれたままにすると、本機を強制終了できます。そのあと、もう1度電源を入れてください。

本体前面の電源ランプが赤色と緑色に交互に点滅している。

➡ 本体内部が熱くなっています。高温な場所で使ったり、通風孔をふさいだ状態で使っていませんか？ そのまま使い続けると操作できなくなります。1度本体の電源を切って、しばらく放置したあと、もう1度電源を入れてください。

本体前面の電源ランプが赤色に点滅し、操作できない。

➡ 本体内部の温度が上がりすぎています。高温な場所で使ったり、通風孔をふさいだ状態で使っていませんか？ 本体前面の電源ボタンにふれて電源ランプの点滅状態を解除し、しばらく放置してください。そのあと、もう1度電源を入れてください。

コンテンツが認識されない。

➡ 本機に対応していない種類のコンテンツは認識されません。

アフターサービスについて

株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント（以下当社）は次の内容に従い、お客様にアフターサービスを提供します。これらの規定に同意いただいたうえでアフターサービスを依頼してください。

アフターサービス規定

1 交換／修理をお断りする場合について

1）不当な修理／分解／改造（ソフトウェアを含む）が行われた製品
2）当社所定のシステムソフトウェア使用許諾契約に違反する使いかたをされた製品
3）PLAYSTATION®3 本体側面（縦置きの場合は底面）のシールドラベルおよび背面のシリアルラベルがない、または、はがした痕跡のある製品
4）不充分な梱包により、輸送中に破損したと考えられる製品（梱包方法は当規定「梱包について」をご覧ください）
5）損傷が激しく、修理しても機能の維持が困難であると当社が判断した場合
6）記録媒体（ハードディスクや記録メディア）内の、損傷したデータの復旧

2 交換／修理について

1）PLAYSTATION®3 をアフターサービスに出すときは、個人情報保護および第三者による不正使用を防止するため、PLAYSTATION®3に保存されているPLAYSTATION®Networkのパスワードを消去し、ハードディスクを取りはずしてください。
2）故障製品と一緒にお送りいただいたものは、返却いたしかねます。お客様が製品購入後に取り付けた物品（シールなど）は取りはずしてからお送りください。
3）お送りいただいた製品は、当社の判断により交換または修理の対応を行います。交換の場合、故障内容の説明はいたしかねます。また、環境保護などのため、交換／修理時に再生部品を使用することがあります。
4）交換の場合、お客様からお送りいただいた製品（本体、箱など）、および修理にあたって取りはずした故障部品については、2）の理由により当社の所有物として回収します。あらかじめご了承ください。
5）製品の交換／修理にともない、ハードディスクの初期化・再設定が必要な場合があります。あらかじめ、データのバックアップをとることをお勧めします。
6）システムソフトウェアをアップデートします。
7）PLAYSTATION®3本体の設定を変更することがあります。

3 料金について

1）保証期間後の本体のアフターサービスは有料となります。料金表については当社ホームページのサポートページ（http://www.jp.playstation.com/support/）をご覧ください。
2）点検・見積りを依頼された場合は有料となります。見積り後に交換／修理をキャンセルされた場合も有料となります。

4 データについて

1）記録媒体内のデータについて、当社は一切の責任を負いかねます。
2）所有権放棄された記録媒体内のデータは、第三者が不当にふれることがないよう、合理的な管理体制のもとで処分します。

5 梱包について

1）交換／修理にあたって、対象製品をお送りいただく際は、購入時の箱および梱包材をお使いのうえ、購入時の箱を包装紙などで包んでください。なお、購入時の箱がない場合には、当社より有料にて梱包用の箱をお送りすることができます。
2）1）の梱包方法以外でお送りいただく場合は、輸送中に本体が破損しないよう充分注意して梱包してください。不充分な梱包により、輸送中に製品が破損したと考えられる場合は、交換／修理をお断りします。

6 アフターサービス依頼品の保管について

アフターサービス依頼品の返却可能日をお知らせしている場合（お客様のご都合でお知らせできない場合を含む）、依頼をお受けした日から1年間を経過してもお受け取りいただけないときは、当社にて処分させていただきます。また、その際には修理料金に加え、保管（保管場所までの輸送費用を含むがこれに限らない）および処分に要した費用の一切を、当社の請求に従い速やかにお支払いいただきます。

7 ご注意

1）出張交換／修理の依頼はお受けしていません。
2）保証期間後の付属品の交換／修理の依頼はお受けしていません。
3）部品単品の販売は一切行っていません。
4）この規定は、当社および当社以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
5）この規定は日本国内においてだけ有効です。（This rule is valid only in Japan.）
6）当社はこの規定をいつでも更新・修正できるものとし、アフターサービスの際には最新の規定が適用されるものとします。この規定に関する最新の情報については、当社ホームページのサポートページ（http://www.jp.playstation.com/support/）をご覧ください。

保証規定

1 保証期間内の製品については、「アフターサービス規定」に加え、この規定が適用されます。「アフターサービス規定」も必ずご覧ください。

2 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

3 保証期間中に正常な使用状態（取扱説明書などの注意書きに従った使用状態）で故障した場合は、当社にて無料で交換／修理します。

4 保証期間内でも、次の場合は保証の対象外になります。

1）保証書がない場合
2）保証書に、お買い上げ日、販売店印などがない場合
3）保証書が改ざんされている場合
4）保証書が本機のものではない、または保証書からシリアルラベルがはがされているなど保証書が本機のものと確認できない場合
5）使用上の誤り、他の製品から受けた障害
6）お買い上げ後の外的要因（落下、衝撃・圧力などの負荷、液体／異物の混入など）による故障および損傷
7）火災／地震／風水害／その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷
8）一般家庭外（例えば業務用）で使用したことによる故障および損傷
9）1）～8）に該当すると当社が判断した場合

5 保証期間内でも、次の場合は交換／修理をお断りします。

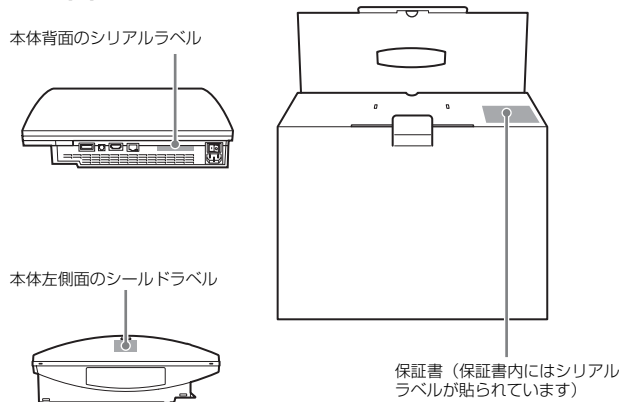
1）不当な修理／分解／改造（ソフトウェアを含む）が行われた製品
2）当社所定のシステムソフトウェア使用許諾契約に違反する使いかたをされた製品
3）PLAYSTATION®3 本体側面（縦置きの場合は底面）のシールドラベルおよび背面のシリアルラベルがない、または、はがした痕跡のある製品
4）不充分な梱包により、輸送中に破損したと考えられる製品（梱包方法は「アフターサービス規定」をご覧ください）
5）損傷が激しく、修理しても機能の維持が困難であると当社が判断した場合
6）記録媒体（ハードディスクや記録メディア）内の、損傷したデータの復旧

6 ご注意

1）この製品の保証は、当社および当社以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2）この製品の保証は日本国内においてだけ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
3）当社はこの規定をいつでも更新・修正できるものとし、アフターサービスの際には最新の規定が適用されるものとします。この規定に関する最新の情報については、当社ホームページのサポートページ（http://www.jp.playstation.com/support/）をご覧ください。

保証書について

- 保証書は外箱に印刷されています。大切に保管してください。また、保証書からシリアルラベルをはがさないでください。
- 保証書に、お買い上げ日と販売店名が記入されていることを確かめてください。
- 保証書のシリアルラベルの番号は、本機のシリアルラベルの番号と一致しています。シリアルラベルで本機の保証書であることが確認できない場合は、保証の対象となりません。

ラベル位置

アフターサービスのご利用につきましては、当社ホームページのサポートページ（http://www.jp.playstation.com/support/）をご覧いただくか、インフォメーションセンター（••▶裏表紙）にお問い合わせください。

ハードディスクを取りはずす／交換する

⚠ 注意
- ハードディスクを取りはずしたり、交換したりするときは、小さなお子様の手の届かないところで行ってください。ネジなどの部品を誤って飲み込むおそれがあります。
- 本機を使用した直後は、本体内部が熱くなっています。しばらく放置してから作業を行ってください。
- HDDベイカバーを取りはずすときは爪や指などにけがをしないよう、充分に注意してください。
- 部品のすき間に指を挟んだり、部品の角などで手や指にけがをしたりしないよう、充分に注意してください。
- 電源を入れるときは、必ずHDDベイカバーを取り付けてください。HDDベイカバーがはずれていると、本体内部の温度上昇の原因となります。

重要
- PS3®をアフターサービスに出すときは、個人情報保護および第三者による不正使用を防止するため、PS3®に保存されているPLAYSTATION®Networkのパスワードを消去し、ハードディスクを取りはずしてください。
- アフターサービスの内容によっては、それまで使っていたハードディスクのフォーマットが必要になることがあります。大切なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。
- ネジの取り付けや取りはずしには、ネジのサイズにあったドライバーを使ってください。サイズが合っていないと、ネジ頭の溝がつぶれることがあります。

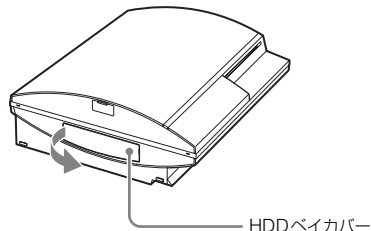
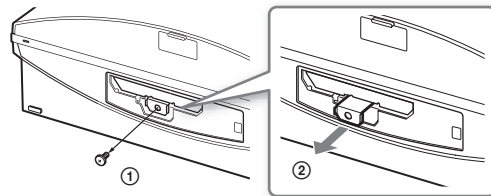
ハードディスクを取りはずす

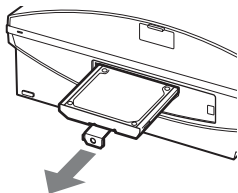
⚠ 注意
ハードディスクを取りはずすときは、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

1 ホームメニューの（ユーザー）→ ⏻（本体の電源を切る）から電源を切る。
電源ランプが赤色に点灯し、スタンバイ状態になります。

2 本体背面の主電源スイッチを切る。

3 電源コードおよびケーブル類を取りはずす。
安全のため、電源コードのプラグをコンセントから抜いた状態で、ケーブル類を取りはずしてください。

4 本体左側面のHDDベイカバーを取りはずす。
HDDベイカバーの左端にあるすきまに爪をかけて手前に引きます。カバーが固い場合は、マイナス（−）ドライバーなどを使ってください。

5 ハードディスクの固定を解除する。
① プラス（+）ドライバーで、青色のネジをはずす。
② レバーを手前に引き出す。

レバーを左側にスライドさせながら引き出します。
けがをしないように注意して作業してください。

6 **ハードディスクを取りはずす。**
レバーを引っ張り、ハードディスクを手前に引き出します。

重要

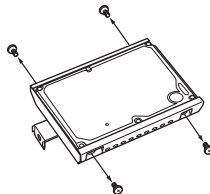
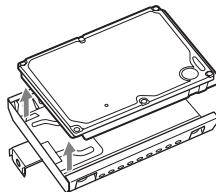
ハードディスクは衝撃や振動、ほこりに弱いため、慎重に取り扱ってください。

- 振動する場所や不安定な場所で使ったり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 内部に水や異物を入れないでください。
- ハードディスクの端子部を手で触ったり、異物を入れたりしないでください。ハードディスクの故障や、データ破損の原因となります。
- ハードディスクの近くに、時計などの精密機器や、磁気カードなどを置かないでください。機器の故障や、磁気カードの破損の原因となります。
- 物を載せないでください。
- 高温多湿および直射日光の当たる場所に置かないでください。

ハードディスクを交換する

⚠ **注意**
ハードディスクを交換するときは、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

ハードディスクを交換するときは、次の手順でアタッチメント金具を取りはずします。

1 **プラス（+）ドライバーで、ネジを取りはずす（4か所）。**

2 **ハードディスクをアタッチメント金具から取りはずす。**

3 **交換用のハードディスクをアタッチメント金具に取り付け、ネジで固定する（4か所）。**
ネジは強く締めすぎないようにしてください。

4 **ハードディスクを本体に取り付ける。**
「ハードディスクを取りはずす」（••▶ 17ページ）の逆の手順で取り付けます。ハードディスクを本体の奥までしっかりと押し込んでください。

5 HDDベイカバーを本体に取り付ける。

6 **システムソフトウェアを再インストールする。**
ハードディスクを交換した場合、システムソフトウェアの再インストールが必要になります（••▶ 19ページ）。

交換用ハードディスクについて

本機には、次の種類のハードディスクが取り付けられます。

サイズ	2.5インチ（内蔵型）*1
インターフェース規格	シリアルATA *2

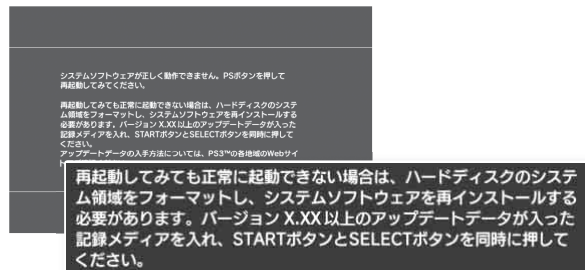
*1 すべての機器の動作を保証するものではありません。

*2 パラレルATAには対応していません。

ヒント

HDDベイカバーやネジ、アタッチメント金具などの部品を紛失したときは、インフォメーションセンター（••▶ 裏表紙）にお問い合わせください。

システムソフトウェアを再インストールする

ハードディスクを交換した場合など、システムソフトウェアがハードディスクから起動しない状態になったときは、次のような画面が表示されます。この場合は、システムソフトウェアの再インストールが必要です。

手順1：システムソフトウェアをダウンロードする

パソコンを使って、次のWebページからシステムソフトウェアのアップデートデータをダウンロードします。

http://www.jp.playstation.com/ps3/update/

ヒント

- アップデートデータは最新のバージョンを使ってください。それまで使っていたシステムソフトウェアよりも古いバージョンのデータでは、再インストールができません。Webページ上で該当するアップデートデータが公開されていない場合は、インフォメーションセンター（••▶ 裏表紙）にお問い合わせください。
- アップデートデータの収録されたゲームディスクなどをお持ちの場合は、そのディスクを使ってシステムソフトウェアを再インストールできる場合があります。画面の指示に従ってディスクをPS3®にセットすると、アップデートデータが利用可能かどうかを確認できます。
- パソコンからインターネットに接続できる環境をお持ちでないときは、インフォメーションセンターにお問い合わせください。

手順2：アップデートデータを記録メディアに保存する

ダウンロードしたアップデートデータは、次のいずれかの記録メディアに保存します。

■ **CD-Rなどの記録用ディスク**
CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+RW 、BD-REに対応しています。

■ **USBマスストレージ機器**
USBメモリなどの記録メディアに対応しています。

■ **メモリースティック デュオ™などのカード型記録メディア**
別途、市販のカードリーダー／ライター（USB接続タイプ）が必要です。

記録メディアの空き容量は、目安として約150MB以上が必要です。必要な空き容量はアップデートデータのバージョンによって異なります。

アップデートデータは次の場所に保存します。パソコンを使って記録メディアに「PS3」という名前のフォルダを作成し、その中に「UPDATE」という名前のフォルダを作成します。

重要

アップデートデータは、必ず次のように保存してください。正しく保存しないと、PS3®でアップデートデータが認識されません。フォルダ名／ファイル名は半角の大文字で入力してください。

保存場所：「PS3」-「UPDATE」フォルダに保存する
ファイル名：「PS3UPDAT.PUP」というファイル名で保存する

手順3：システムソフトウェアをインストールする

PS3®の電源を入れ、記録メディアをセットしてください。画面の指示に従って操作すると、システムソフトウェアを再インストールできます。

重要

- インストール中は、本機の電源を切ったり、記録メディアを抜いたりしないでください。インストールが中断されると、故障の原因となります。
- インストール中は、本体前面の電源ボタンやコントローラの PS ボタンが機能しなくなります。

データの取り扱いについて

アフターサービスに出すときは

PS3®をアフターサービスに出すときは、PLAYSTATION®Networkのパスワードの保存を解除してください。解除しない場合、第三者に個人情報やクレジット番号などが閲覧されたり、利用されたりする可能性があります。解除の方法について詳しくは、ユーザーズガイド（••▶3ページ）をご覧ください。PS3®で複数のユーザーがPLAYSTATION®Networkのアカウントを使用しているときは、それぞれのユーザーでログインし、パスワードの保存を解除してください。

廃棄時などのデータ消去について

本体を廃棄、および他人に譲渡するときは、本体内のデータを消去することが必要です。消去しない場合、第三者に個人情報やクレジット番号などが閲覧されたり、利用されたりする可能性があります。データの不正な閲覧または利用によってお客様に生じた不利益その他の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。データを消去するときは、（設定）➡（本体設定）➡「PS3™の初期化」で初期化してください。
なお、初期化の作業中に、ハードディスクのフォーマット方法を選ぶ画面が表示されたときは、「フルフォーマット」を選ぶことをお勧めします。「クイックフォーマット」を選ぶと、フォーマット時間を短縮できますが、特殊なツールなどを使うと消去したデータが復元できる場合があります。

ワイヤレスコントローラのバッテリーについて

⚠ 危険

- バッテリーの液がもれたときは、素手で液をさわらないでください。
  - 液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の診察を受けてください。失明の原因となります。
  - 液が身体や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚に炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。
- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車内、熱器具の近くなど高温の場所に置かないでください。

寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの持続時間は少しずつ短くなります。
- バッテリーの寿命は、保管方法や使用状況、環境などにより異なります。

保管について

長期間使わないときでも、機能を維持するため、1年に1度は満充電してください。

ワイヤレスコントローラを廃棄するときは

コントローラに内蔵しているリチウムイオン電池は、リサイクルできます。コントローラを廃棄するときは、バッテリーを取りはずし、リサイクル協力店へお持ちください。

バッテリーを取りはずす

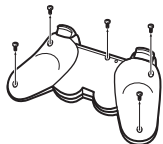
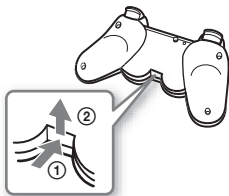
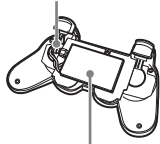
⚠ 注意

- バッテリーを取りはずすときは、小さなお子様の手の届かないところで行ってください。ネジなどの部品を誤って飲み込むおそれがあります。
- コントローラのカバーを取りはずすときは、爪や指などにけがをしないよう、充分に注意してください。

その他

重要
コントローラを廃棄するとき以外は、絶対にネジを取りはずさないでください。

1 コントローラからUSBケーブルを取りはずす。

2 プラス（＋）ドライバーで、ネジをはずす（5か所）。

3 カバーを取りはずす。
① 矢印の方向に押します。
② 上にスライドさせます。

4 コネクターをはずしたあと、バッテリーを取りはずす。

リチウムイオン電池のリサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人 JBRCホームページ（http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html）を参照してください。

主な仕様

仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

PLAYSTATION®3本体

項目		仕様
CPU		Cell Broadband Engine™
GPU		RSX®
サウンド出力		Dolby Digital Plus, Dolby Digital 5.1ch, DTS 5.1ch, LPCM 7.1ch, AAC, etc.*1
メモリ		256MB XDR Main RAM, 256MB GDDR3 VRAM
ハードディスク	2.5" Serial ATA	80GB*2
入出力*3	Hi-Speed USB（USB2.0準拠）	2
通信		Ethernet（10BASE-T, 100BASE-TX, 1000BASE-T）×1
		IEEE 802.11 b/g
		Bluetooth 2.0（EDR）
コントローラ		ワイヤレスコントローラ（Bluetooth）
AV出力	解像度	1080p, 1080i, 720p, 480p, 480i
	HDMI出力端子*4	1
	AVマルチ出力端子	1
	光デジタル出力端子	1
BD／DVD／CD ドライブ（読み出し専用）	最大読み出し速度	BD2倍速（BD-ROM） DVD8倍速（DVD-ROM） CD24倍速（CD-ROM）
電源		AC 100V、50/60Hz
消費電力		約280W
外形寸法（最大突起部除く）		約 325×98×274 mm（幅×高さ×奥行き）
質量		約4.3kg
動作環境温度		5℃〜35℃

*1 HDMI出力端子からDolby TrueHDなど7.1chの音声を出力するには、Linear PCM 7.1chに対応した機器が必要です。

*2 本機の（設定）➡（本体設定）➡「本体情報」に表示されるハードディスクの空き容量は、1GBを約10億7374万バイトとして計算しているため、本書に記載している数値（1GBを10億バイトとして計算した数値）よりも少なく表示されます。表示のしかたは異なりますが、実際にご利用いただけるハードディスクの容量は変わりません。
また、ハードディスク容量の一部はシステムが稼動するためのシステム領域として使用されるため、それ以外の容量が実際にご利用いただけるユーザー領域となります。

*3 すべての外部機器の動作を保証するものではありません。

*4 HDMI ver1.3aで定義された"Deep Color"、"x.v.Color (xvYCC)" に対応しています。

ワイヤレスコントローラ（DUALSHOCK®3）

項目	仕様
電池種類	内蔵型リチウムイオン充電池
電圧	DC 3.7V
電池容量	610mAh
質量	約193ｇ

再生できるディスク

Blu-ray Disc（BD）	PLAYSTATION®3規格BD-ROM
	BD-ROM
	BD-R
	BD-RE*1
DVD	DVD-ROM
	DVD+R／RW
	DVD-R／RW
	AVCHD
	DSD ディスク
CD	PlayStation®規格CD-ROM*2*3
	CD-DA（音楽CD）*4
	CD-R／RW

*1 BD-RE ver1.0の再生には対応していません。

*2 本機ではPlayStation®2規格ソフトウェアは動作しません。

*3 本機ではPlayStation®規格ソフトウェアとの互換性が保証されていないため、従来のPlayStation®と異なる動作をしたり、適切に動作しないソフトウェアがあります。システムソフトウェアをアップデートすることにより互換性が向上し、適切に動作するようになる場合があります。詳しくは、当社ホームページ（http://www.jp.playstation.com/）またはインフォメーションセンター（••▶ 裏表紙）でご確認ください。

*4 スーパーオーディオCDの再生には対応していません。

ご注意

- 本機では、円型ディスクを使ってください。円型以外の特殊な形（カード型、星型、ハート型など）のディスクを使うと、故障の原因となります。
- 本機では、ひび割れ、変形、補修したディスクを使わないでください。故障の原因となります。
- 8cmディスクを使うときは、アダプターを取り付けずにそのままセットしてください。アダプターを付けてセットすると、故障の原因となります。
- 本機の音楽ディスク再生機能は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠して設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。
- DualDiscは、DVD規格に準拠した面と、音楽専用の面を組み合わせた両面ディスクです。この音楽専用の面は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠していないため、本機での再生は保証できません。
- HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応していない機器をHDMIケーブルで接続すると、本機からの映像および音声を出力できません。
- 本機のAVマルチ出力端子を使ってテレビに接続している場合、著作権保護されたBDの映像や動画ファイルの解像度が制限されることや、出力されないことがあります。
- 不正にコピーされたディスクを再生すると、異音がするなど、正常に再生されない場合があります。
- 著作権保護されたBDを継続的にお楽しみいただくためには、AACS（Advanced Access Control System）の暗号鍵の更新が必要となる場合があります。暗号鍵の更新には、システムソフトウェアのアップデートが必要です。
- ディスクによっては、傷や汚れ、記録状態、記録機の特性などが原因で再生できないものがあります。

リージョンコードについて

ディスクによっては、販売地域ごとに「地域番号（リージョンコード）」が割り当てられています。本機では、次の地域番号のディスクを再生できます。

ディスク	地域番号（リージョンコード）
Blu-ray Disc（BD）	A
DVD	2 ALL
PLAYSTATION®3規格BD-ROM	2 ALL
PlayStation®規格CD-ROM	NTSC J

DVDおよびPLAYSTATION®3規格ソフトウェアについて

- SDの解像度で出力しているときは、NTSC方式で記録されたディスクのみ再生できます。
- HDの解像度でPLAYSTATION®3規格ソフトウェアを再生するには、59.94Hzの映像再生に対応したテレビが必要です。

DVD-R／DVD-RW／DVD+R／DVD+RWについて

ファイナライズ作業をしていないディスクは、再生できません。

著作権・商標について

BluetoothワードマークとロゴはBluetooth SIG, Inc.の所有であり、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントはライセンスに基づきこのマークを使用しています。

DivX、DivX Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。

DLNA and DLNA CERTIFIED are trademarks and/or service marks of Digital Living Network Alliance.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending.
DTS is a registered trademark and the DTS logos, Symbol, DTS-HD and DTS-HD Master Audio are trademarks of DTS, Inc.

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

DVDロゴは商標です。

日本語フォントおよび欧文フォントの一部は、株式会社フォントワークスジャパンの文字を使用しています。

HDMI, the HDMI logo and High-Definition Multimedia Interface are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing, LLC.

「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

This product incorporates copyright protection technology that is protected by method claims of certain U.S. patents and other intellectual property rights owned by Macrovision Corporation and other rights owners. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision Corporation, and is intended for home and other limited viewing uses only unless otherwise authorized by Macrovision Corporation. Reverse engineering or disassembly is prohibited.
Anti-Grain Geometry - Version 2.0
Copyright © 2002-2004 Maxim Shemanarev (McSeem)
Permission to copy, use, modify, sell and distribute this software is granted provided this copyright notice appears in all copies.
This software is provided "as is" without express or implied warranty, and with no claim as to its suitability for any purpose.

WindowsおよびWindows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国および／またはその他の国における登録商標または商標です。

新丸ゴ（シンマルゴ）®Rは株式会社モリサワより提供を受けており、この名称は同社の登録商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO
(i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR
(ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO.
NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

本機は、RSA Security Inc.のRSA® BSAFE™ ソフトウェアを搭載しています。
RSAはRSA Security Inc.の登録商標です。BSAFEはRSA Security Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

本機は S3 Graphics 社の S3TC テクスチャ圧縮技術を採用しています。

Java and all Java based trademarks and logos are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. and other countries.

@(#)fdlibm.h 1.5 95/01/18

Developed at SunSoft, a Sun Microsystems, Inc. business.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

MPEG Layer-3 audio coding technology and patents licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

MP3 Surround audio coding technology and patents licensed from Fraunhofer IIS, Thomson, and Agere.

The USB-IF Logos are trademarks of Universal Serial Bus Implementers Forum, Inc.

Wi-Fi CERTIFIED はWi-Fi Alliance の認定マークです。

eZiText® and Zi® are registered trademarks of Zi Corporation.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

その他のライセンスおよび商標については、
http://www.scei.co.jp/ps3-license/index.htmlをご覧ください。

その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

米国輸出管理規則警告文

本製品は、米国輸出管理規則（Export Administration Regulations）の規制対象となるソフトウェアを含んでおり、米国政府が輸出を禁ずる国へ輸出または再輸出することはできません。また、米国から取引を禁止されている個人、団体に輸出または再輸出することはできません。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

発行日2007年9月20日

情報の使用目的

提供していただいた氏名、住所、またはお客様カルテの回答などの個人情報（以下個人情報）は、株式会社ソニー・コンピュータ
エンタテインメントにて下記の目的で使用します。下記以外の目的で個人情報を使用する際は、改めてお知らせし、お客様の同意をいただきます。

お客様カルテとインフォメーションセンターへのお問い合わせで提供された個人情報

商品のアフターサービスで使用します。

情報の保管・開示

お客様にご提供いただいた個人情報は、ソニーグループ・プライバシーポリシーに基づいて保管いたします。詳しくは、
http://www.jp.playstation.com/about/privacy.html にてご確認いただけます。

個人情報のお問い合わせ先

株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント
インフォメーションセンター
TEL　0570-000-929（PHS、一部のIP電話の場合　03-3475-7444）
受付時間　10:00～18:00

14才までのお子さまへ

電話をかけるときは、大人の方といっしょにかけてください。お客様カルテも大人の方といっしょに書いてください。